

同一地域, 同一調査法による 15年間のアレルギー疾患の変化

出典 アレルギー (0021-4884) 48 巻 4 号 Page435-442 (1999. 04)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/1999206981>)

著者 松本一郎 他

調査地域 福岡県福岡市

調査時期 1981~1995 年

調査対象 小学 1 年生

依頼数 各年度平均 : 533 人 (総対象者数 : 8000 人)

回収率 各年度 : 95%以上

診断方法 ATS-DLD

有症率 13.2%

年度別有症率 1987 年 : 12.2%
1988 年 : 14.2%
1991 年 : 11.6%
1992 年 : 13.5%
1993 年 : 12.2%
1994 年 : 13.5%
1995 年 : 15.1%

男女別有症率 男平均 : 16.5% 女平均 : 9.8%

年度別有症率	1987 年 :	14.9%	9.7%
	1988 年 :	16.2%	12.1%
	1989 年 :	15.6%	7.6%
	1992 年 :	17.0%	9.5%
	1993 年 :	16.0%	8.6%
	1994 年 :	16.9%	10.4%
	1995 年 :	18.8%	11.4%

調査概要 福岡市の小学一年生の 15 年間のアレルギー疾患の調査論文。
アレルギー性鼻炎の累積罹患率に経年的変化は認められなかった。
アトピー性皮膚炎以外は男子のほうが高率であった。